

## 河北春秋

17文字に込められた思いが切なく  
つらい。△孤独身の故郷なつかし  
冬の空▽。故郷は既になのか、  
帰れないのか。△炊き出しに並ぶ  
身切なく頭垂れ▽。善意に申し訳  
ない気持ちを抱いているのだろうか

▼仙台市のNPO法人仙台夜まわりグルー  
プの会報に掲載された計41句は、全て仙台  
市にいる路上生活者たちが詠んだという。  
△人目避け寒さを避けて冬を越す▽。最低  
気温は口々、氷点下を記録する。路上の寒  
さに加え、突き刺すような人の視線が痛い  
▼「捨てる神あれば拾う神あり」とよく言  
うが、きょうでちょうど24年となる仙台夜  
まわりグループの活動には頭が下がる。当  
時、仙台には300人近い路上生活者がお  
り、毎年10人以上が路上で亡くなっていた  
▼死因はほとんど凍死か栄養失調だった。  
事務局長の青木康弘さん(63)ら3人が「路  
上で死なせたくない」と仙台市内を回り、  
寒さに震える路上生活者にカイロや食料を  
配った。豊かな国の片隅で社会に見捨てら  
れた「透明な存在」を見捨てられなかった  
▼ホームレス自立支援法が2002年に施  
行され、人数は大幅に減ったものの、今も  
仙台に83人いる。コロナ禍で若い困窮者も  
増えた。「路上は世の中の現状を映し出す  
鏡」と青木さんは言う。心の寒暖計まで下  
がっていないか自問する。 2024・1・13